

# 平成27年度通常総会開催 新副会長、理事を選任

## 日本万引防止システム協会

日本万引防止システム協会(東京都新宿区、戸田秀雄会長、TEL03・3355・2322、以下J.E.A.S.)は、2日に東京・新宿区の主婦会館プラザエフで平成27年度通常総会を開催。前年度の事業報告、今年度の事業計画などに加え、新たな

副会長に金村真一氏(チエックポイントシステムジャパン社長)、新理事に佐藤圭三氏(キャトルプラン社長)などの選任が承認された。

総会の議事開始前に、戸田会長が挨拶。「凶悪犯罪の入口と言われて久しい万引犯罪は、青少年か

ら高齢者へ広がり複雑化。一過性の犯罪から組織犯罪へと悪質化が進み、大きな減少傾向を辿っていないのが実態」と万引犯罪の現状を紹介。

そして、万引きの原因や動機に触れた上で、「被害者である小売店の立場で考えれば、安全安心が脅かされると同時に大きな経済的損失を受けることとなり、大変深刻な事態」と語った。万引防止システムなどの普及が広がっているが、「残念ながら未だ小売店の自己防衛手段に止まっているのが現状」であるとした。その上で、「小売業様の負担を

軽減して、なお且つ防犯効果を高めていくためには、企業単位から業界単位へ、そして業界単位から社会全体」という広がり、関係方面が一体となった防犯体制の充実、セキュリティのインフラ整備を並行させることで、万引犯罪の撲滅を目指す取り組みが重要と指摘。J.E.A.S.では具体策として、万引防止システムの更なる普及推進、ソースタギングの実現、防犯画像の効果的な利用法の確立に注力していく旨を語った。



戸田会長



金村副会長



佐藤理事

そして議事に入り、平成26年度事業報告、

收支決算、平成27年度事業計画、收支予算などが報告され、原案通り承認された。また、新理事に金村副会長、佐藤理事の2名、新監事に山根久和氏(セフトHD社長)が選任された。また、万引防止システムの更なる満足度向上を目的とする、新活動宣言発出を検討する件も承認して閉会。その後、記念講演会を開催した。

意見交換会では、冒頭で戸田会長が参加者に対する感謝の挨拶を述べた。その後、来賓として経済産業省商務情報政策局の大木雅文環境リサイクル室長・情報家電戦略室長、日本小売業協会・山崎和敏事務局長の挨拶後、全国万引犯罪防止機構の竹花豊理事長による乾杯を行った。また、総会で新たに選出された佐藤理事、金村副会長も挨拶を行うなど、和やかな歓談の場となった。